

「カレッジスポーツの未来を描く」

■ スポーツ研究所第6回シンポジウム ■



▲ 田中理恵氏

6度目の開催となる今回のシンポジウムは、日本体育大学理事長の松浪健四郎氏による「スポーツの文化的価値とその可能性」についての講演。続いて「カレッジスポーツのポテンシャルとスポーツを通じた地域貢献とその未来像」をテーマに、松浪氏、佐藤雅幸

公開シンポジウム「カレッジスポーツの力を考える」が10月21日、本学のサッカー選手らが生田キャンパスで行われ、カレッジスポーツ



▲ 長澤和輝選手

活発に議論

公開シンポジウム「カレッジスポーツの力を考える」が10月21日、本学のサッカー選手らが生田キャンパスで行われ、カレッジスポーツ

五輪は元気を取り戻す希望

寄稿 専大スポーツ編集部・鈴木 詩織(文3)

6度目の開催となる今回のシンポジウムは、日本体育大学理事長の松浪健四郎氏による「スポーツの文化的価値とその可能性」についての講演。

1964年東京五輪も戦後の開催で、急速な復興を遂げた日本が、国際社会の中核を担うきっかけとなった。講演の冒頭に



▲ 右から熱っぽく語る松浪氏と佐藤教授、山田教授

学外の2イベントでアニメ企画を発表

富富忠和ネットワーク



▲ 秋葉原でプレゼンする専大生



▲ 大勢が来場したアニメ祭

情報学部教授が担当する「アニメーション・コンテンツ企画を立案し、優秀な企画が学外のイベントで発表された。」

「アニメ・マンガまつり」に「しわ」の映像をバックにディスカッション

自分の世界が広がった

発表者・小北さん(経営3)

経営学部の小北さんは、アニメ・マンガ文化をテーマに、卒業論文として富富先生の研究を進めている。「参考文献として富富先生の論文を読みました。また、アニメビジネスの関係を講演するという内容にも興味がありました」と、総合科目「コンテンツの製作と産業」を履修。履修者同士の探点で高評価を受け、両イベントでの発表者に選ばれた。

「世界観を忠実に再現した展示施設を提案した。アイデアの魅力や集客力をどう伝えるかを意識して考えました。ゼミの仲間や小沢先生からもアドバイスをいただき、企画をまとめました。」

今年公開され話題となったスペインのアニメ映画「しわ」のイグナシオ・フェレーラス監督と「ク



「平和の祭典」と称される五輪を開催することは国民に夢を与え、経済や生活様式の分岐点となる。そして国民一人ひと

最終講義のご案内
11月13日現在
学芸学部関係なく、どなたでも受講できます。卒業生もご参加ください。